

平成 30 年 12 月 4 日

各 位

株式会社リボミック

(コード番号 : 4591 東証マザーズ)

人工知能を用いた革新的アプタマー創薬システムの開発 に関する取り組みが日経バイオテクで紹介されました

12月3日付記事として日経バイオテク ONLINE に、早稲田大学理工学術院先進理工学研究科の浜田道昭教授、東京大学医科学研究所の高橋理貴特任准教授、及び当社で実施している AI アプタマー研究会での取り組みが「計算力でアプタマーを磨き、超高速で至適配列に到達 早稲田大学理工学術院先進理工学研究科・浜田研究室」と題した記事で取り上げられました。

本記事において、AI アプタマー研究会の活動目的は医薬品や診断薬での実用化を目指すアプタマー分子の選択を人工知能と計算力と *in vitro*、*in vivo* の wet の実験を組み合わせ、より効率的に洗練されたものにするものであり、その目標は下記の2つであることが紹介されました。

目標 1: 医薬品や診断薬の候補となるアプタマー分子を SELEX 法から候補を絞り込み、活性評価、短鎖化するまでの、現在 2 年を要する期間を大幅に削減すること。

目標 2: 低分子化合物の設計が難しい膜蛋白質に結合するアプタマーを選抜すること。

なお、本取り組みは 2018 年に科学技術振興機構 (JST) が公募した戦略的創造研究推進事業 CREST 領域に「人工知能を用いた革新的アプタマー創薬システムの開発」のテーマで採択され、その下で推進しております。

以上

【本件に関するお問い合わせ先 : 経営企画部 03-3440-3745】